

幼稚園教育で何が一番重要か

——先生方の聲を集めて——

編 集 部



最近、我が国で幼稚園の盛になると共に、幼児教育に携わる者が、考えねばならぬ種々の問題がある。幼児の教育編集部では、現場の幼稚園の先生方が、何を問題としておられるかを知るために、全国の公私立幼稚園に、最も重要と思われる問題について回答をお願いした。それらの声を集め、現在幼稚園教育で考慮すべき重要な問題として、ここに掲げる。

一、施設及び設備の充実

幼稚園の建物が不足している、というのは多くの人の声である。或いは、建物が出来ても、幼稚園に必要な設備が整わず、十分に教育目的を達することが出来ない。

「適当なる環境を与えて、という本来の使命を果していくためにも、また幼児をおおらかに期らかに育成していくためにも、施設や設備を充実していかねばならない。巷間云々されるような安易な考え方による幼稚園経営を排除していきたい。」(愛知学芸大学附属幼稚園長、鈴木信政)

「入園希望児の多いことで教室の不足のため、充分満足する収容が出来ない。(小学校併設幼稚園では)独立幼稚園に比較して設備が不十分である、ために充実した教育が出来ない。」(東京都千代田区立、小川幼稚園長、橋井 仁)

「幼児教育の重大さと必要さを痛切に感じながら、その施設があまりに少ないこと、この事は父兄側の不満でもございませす。」(北海道札幌市、藤幼稚園)

これらの施設不足の問題は如何にして解決されるだろうか。

「経済的確立。この点に関しては全く見通しがつかぬまゝ、最重要であることを自覚させられます。」

(京都市、鴨東幼稚園、広沢勝亮)

「施設、設備の充実。私立幼稚園の財政難施設極めて貧困。」

(東北大附属幼稚園長、村田良一)

「近年入園希望者が増加して来たことは、(九〇%以上になつてゐる)就学前教育の重要性が認識されたことゝ心強く思われるが、教室が少ないために学級園児が多くなる。早急に施設の充実をはからねばならない。困からもしつかり補助をしてほしい。」

(兵庫県、長尾幼稚園長、三谷敬二)

「幼児教育の急速なる普及により、幼稚園も狭き門となりつゝある。その解決は、既設園の施設の拡大と、良心的幼稚園の新設が必要である。とくに今日まで苦心經營に當つてきた既設園の健全なる發展、育成のため、低利資金の貸出機関の設置などの金融面の便宜等を、監督当局や、私立幼稚園相互の協力によつて計画、実施すべきことが切実に望まれる。」

(名古屋市、珉光院幼稚園長、小椋美代子)

「施設設置に対する国庫補助の件。幼稚園教育が義務制にまでしてほしいという声の大なる時、施設新設に対して補助がないというは残念である。保育所は至る所に任意に設立される。国庫補助がある為僅少な追加を県及町村ですればよい。經營にしても保育所は私立の如何なる所でも多額の措置費が支払われている現在、設置に対する補助だけでも出してほしい。」

(高知県、須崎幼稚園、大崎花子)

「毎年の事ながら、親等がこれだけ幼児の保育という事に関心をもつて来ているのに、幼稚園数が足りなく、希望者を全部収容出来ないのが遺憾である。又定員数をオーバーしても無視して入園させるので、教員数が不足しているし、思ひ様な保育が出来ない。テストやくじ引で入園等もつての外と思う。国や県がもう少し予算面で幼児教育のため考慮してくれたらと思う。」

(三重県、松坂市、市立幼稚園長)

終戦後幼児数も増加して、此の数年は特に幼稚園の不足も痛切に感じられた。そして經營の問題と関連して、幼稚園がその園児数に比して小さすぎるという問題も、我が国の人口問題と同様に痛切である。

「敷地狭隘に関する解決の問題。多大の費用を要する今日生徒に対する敷地の比率は余りに狭小すぎる。之に対する、経済的、政治的援助の道なきや。」

〔東京都渋谷区城南教会幼稚園長、星野三雄〕

敷地が狭隘であるという問題と共に、それと関連して、一人の先生の受持つ子供の数が多いうことも、同様の問題を提出する。

「社会状況と経済及び施設に関係がありますが、今日の園でも、一人の先生が三十五名位受持っているのではないでしようか。是では明らかに理想的な保育は不可能でありませう。私立幼稚園に対し、何かの経済的裏付を与えて、施設の改良は出来なくとも、先生を増員する位は考えねばならない事でしょう。」

〔神戸市光の国幼稚園、中村敏夫〕

「一組の担任園児数が多い為に形式に流れ易く、一人一人を見つめて個性をのばす教育が出来難いと思う。保護者とも如何に手をつなぐべきか、考慮すべき方法があると思う。」

〔京都市、常葉幼稚園、藤波 和〕

此ら諸点で問題になつた経済的問題は、如何にして解決されるであろうか。此処でも幾つかの案が提起されたが、現在可能な範圍の対策はもつとないものだろうか。成いは又、経済的問題が解決される前にも、現在の段階で、もつと改良すべき点は残らないだろうか。

二、幼稚園教育義務制の問題

幼児教育普及のために、経済問題解決のために、幼児教育の機

会均等のために、幼稚園教育義務実施の声もかなりある。

「一日も早く義務制にしてほしいこと。」

〔島根県、松江市、雑賀幼稚園〕

「幼稚園教育の機会均等。入園を希望する幼児には誰でも入園出来る道を開くこと。現在の施設の状態では少くとも就学前一年の希望者には入園出来る道を開いてやらなければならぬ。公立幼稚園は一年保育を優先的に、公立幼稚園にも就学前一年児には公費の補助をして経営が成り立つようにし保育所も自由契約児は就学前一年児を優先にして、学今前の教育に力を入れるべきだと思ふ。」

〔広島大学附属幼稚園、八坂寅子〕

「幼稚園の施設基準を確立して法的根拠を設けて之に引き上げる。幼稚園教職員の待遇を、地方の財政状況によつて支配されぬ様、法的措置を講ずること。幼稚園教育の義務制実施により、右二項も打開されるものと考えるので、根本的には義務制実施を要する。」

〔兵庫県、大屋村、大屋幼稚園長〕

しかし、幼児教育普及のためには、幼児教育の重要性を裏付けような、更に一層の研究と資料とを必要とするであらう。

「幼稚園教育が重要であることを、為政者、一般の人に確認させること。現在誰も概念的に重要であると考えているがこれを実証する資料を作製する必要がある。これは少くとも

五年六年の継続的研究でなくてはならない。これが出来ない中は、如何に重要性を説いても軽視され勝ちである。」

(栃木県足利市、足利幼稚園、花岡仙風)

三、幼稚園教員の問題

「幼稚園教員養成機関の確立について。現在、全国どの府県でも幼稚園適格教員の不足を訴えていない所はないという状況である。これは政府が現段階に処し、速急に体系的な教員養成の方策を樹立すべきである。わが埼玉では此の実情に鑑み止むなく県当局に懇請し、新年度から県立の養成機関を設立し事態に適應するよう準備中である。然しこの問題はどこまでも政府として、施策をはかるべき喫緊の事柄である。」

(埼玉県、浦和幼稚園長 長沼依山)

「幼稚園教諭の養成機関。小学校の教諭と同一養成機関であるが、高知県の如き公立園の一個所も無い所では、恩給其他の条件によつて、私立園には小学教諭は勤務しない。教授されるのが別であるので、専門の幼稚園教諭養成機関を國に於て設立する事は必要欠くべからざる事である。でない幼稚園教育は退歩して行くではないか。」

(高知県、須崎幼稚園、大崎花子)

良い幼稚園教員を養成するために、良い養成機関と設置或いは

拡充することが、要望されている。

「教育の資質向上のためには県単位に養成機関を設けていただきたい。静岡県は四月より開設と聞くので、要望が実現されたものと喜んでいきます。」

(静岡県、私立梅花幼稚園長、鏡島元隆)

「幼稚園激増の傾向にあり、それに伴う良い教諭が見当らず、小学校教諭によつて行われている施設が少くない。養成機関が少ないことが如此現象を生み出している。」

(山形市、千歳幼稚園長、梅津吉之助)

「良い幼稚園教師、幼児教育者を多く養成すること。学校教育法に加えられたる今日、尙幼稚園教諭の地方大学にでき同時にもつと幼児教育の特技が此の期の大切な教育が若い方に氣をつけて頂けるならば、どれだけ幼稚園の教育が進歩されることと思ひます。」

(愛媛県今治市、昭安幼稚園長、田坂ユキ)

教員養成機関は、幼稚園に良い、先生を集め幼児教育本来の使命を果すことができるように、特に要望される。

「現今漸く幼稚園教育の認識が深まりつつあることは、その増設により、もの語るといえましよう。そこでこれにあたる教員の養成こそ、幼児教育目標遂行のため最も重大なる役割と存じます。幼児の環境の第一は何といつても先ず先生で

あります。この意味でよき先生の養成こそ目下の急務と存じます。」
(兵庫縣、明石市、播磨幼稚園長、内匠ちる)

「地方の私立幼稚園では、幼稚園教員に人を得られない事は、経営の立場からも又幼児のためにも考慮されなければならぬと思います。最寄りに養成機関がないため、未経験者をついたのむ様になります。子供に対する一言一句が子供の将来に影響すると思いますと、一年でもよいかから養成された人をたのみたいと思っております。」

(埼玉大、所沢幼稚園、吉岡久子)

「社会側からも幼児教育の重大さは叫ばれておりますのにわずかにあります施設の保母さん達の資質が低いこと、それをおぎなう積極的な施設が何もないこと。」

(札幌市、藤幼稚園長)

「総合的、有力な養成機関を造り、徹底した教育訓練をなすこと。今日程保育教育者の智的倫理的内容充実に要望されている時はありません。」(京都市、鴨東幼稚園長、広沢勝彦)

教員の資質向上

現職の幼稚園の先生達が互に意見を交換したり、学んだりする機関も必要であろう。幼稚園において、直接に子供に影響し、最も重要な役割を果たすのは先生である。先生の教養に關しての希望と期待も大きい。

「先生の素質向上。学歴も大切だが教養を培めたい。」

(広島縣、尾道市、スミレ幼稚園、三浦かつよ)

「幼稚園の時代は大学時代よりもはるかに大切な時代である、とはお互に認めあい、又事実そりです。ではその大切な時代の責任をおう先生達は大学教授達より、はたしてすぐれているでしょうか。勝れていないまでも、自覚しているでしょうか。努力しているでしょうか。勉強しているでしょうか。」
(鹿児島縣、伊集院町、伊集院幼稚園長、麦野七右衛門)

「良き環境を与える為の第一には教師の人格を考慮すべきではないかと思ひます。」(広島縣、因島市立土生第一幼稚園長)

待遇改善

良い教師を得るためには、良い教員養成機関の拡充と共に、他の種の教員と比較しても経済的に著しく恵まれない幼稚園教育の待遇改善が、当然問題となる。

「小学校以上の教諭の資質は、最近非常に向上しているが幼稚園教諭のそれは遅々としている。解決方法としては、幼稚園教員養成機関の拡充と相まつて、人材をこの方面に吸収する基礎条件として、待遇改善(とくに私立において)について、各國(とくに私立)が一様に考慮しなくてはならないと思う。」
(名古屋市、環光院幼稚園長、小松美代子)

「幼稚園教諭の待遇改善。私立幼稚園が多い關係上、公立

に比し私立幼稚園教諭の待遇悪く……」

(東北大学附属幼稚園長、村田良一)

「職員の俸給を県から支出するように。町村支弁のために悪い条件にある。義務教育に準じて県支弁とすることが、幼稚園教育振興上大切なことであると思う。」

(兵庫県長尾幼稚園長、三谷敬二)

四、幼児教育の使命に対する反省

「幼児教育の使命にむかつて邁進しなければならぬ。幼児教育の歴史をふりかえてみると、この教育が始められてからの社会の認識は現在非常に高まってきている。それは全国各地に年々幼稚園の数が激増し、入園希望者が続々とつめかけるといふ状況をみてわかる。併し反面、幼稚園教育の功罪等を種々批判されることは、その裏面に幼稚園教育をどのようにゆがめてみられる部分のことを思わせられる。

どうしたら幼児の発達段階にびつたりあつた、のぞましいのしい生活経験をあたえ、心身ともにゆたかな人間性を培つていくことが出来るかを、当事者は真剣に研究しあい、全国につきつぎと発足するすべての幼稚園が幼児教育の使命にむかつて尽瘁することこそ大切であると思う。」

(静岡市立、安東幼稚園長、田中あい)

「幼児教育の真使命。」「三つ子の魂百までも」現今の御子

様は年々に聰明としくなっていると思われれます。自主性にしても観察力にしても非常にチャッカリして居ります。映画などに興味をもって、題目の変るたびに観賞する幼児が実に詳しく映画俳優の表現する動作などは、そのままのか。こうをして、心に映画そのものを給がいて日常生活を映画の中に生かそうとするものであります。園長、園主、職員一同の動作又は指導精神は、幼児の心を左右するものであります。幼児教育の神聖さはよく知りつつも、なかなかしつくりと幼児の清らかな要望に満足なし得ないということを日夜反省して、幼児教育の真使命に一步一步近づきたいと念ずるものであります。」

(浜松市、青葉幼稚園長、松下わか)

幼稚園の目的、幼稚園の使命に対する再反省が現代幼稚園の当面する重要問題として挙げて、再び幼稚園の先生に対する期待は大きい。

「幼稚園教諭が職業意識の対象として幼児を取扱うならばどんな立派な設備も、立派にみえる環境も、どんなに至れり尽くせりのカリキュラムも、子供の霊の成長に何らプラスにならないと思います。幼稚園生活の子供の最良の友とならせて頂こう、というけんそんな使命観の下に仿らくとき、知らずして子供の霊の中に大いなるものがつちかわれる、即ち先生方に対して幼児の靈魂のつちかいを要求したのであります。」

(鹿児島県、伊集院幼稚園長、麦野七古衛門)

「教育の方法といえは、現在の学校の形式だと思つて居る様である。幼児に最も適した方法がもつと別にある筈である。依然として知識尊重のみの形式が行われている様である。その原因は、その親達が、これも依然として、見栄的な教育しか考えていない。それにしかも、幼稚園の教師自体が迎合している形である。幼児のためにする教育、これを忘れてはならない。此の様な結果になることは、教師に学問的な深い知識がないためである。二年や三年で幼児の理解の上になつた眞の教育など出来得べきもない。先生になつたなど軽々思つてはならない。生涯をかけて幼児研究の学徒でなければならぬ。」

(甲府市、穴切幼稚園長、古屋喜男)

五、幼稚園の教育内容

実際に行なう教育の内容については、今までも多くの研究と工夫とが積まれて来たが、尙考慮すべき点が多い。

教育計画

「小学校教育との関連づけにより、相当批判され再構成されて、カリキュラムの問題も今日では幾分落付きを見せたが尙、小学校化したものを実施している向もないではない。あくまで遊びを中心とし、これに保育内容を凡てとけこませ、教える、という臭みをとつたものこそ望ましい。時間的に余

り制約されず、幼児のレディネスに即応していきたい。」

(愛知学芸大学附属幼稚園長、鈴木信政)

「無計画な教育、思いつきの教育、偏した教育が多い。1 先生が若く未経験で、教育識見に乏しいから。2、標準となるような十分なプランがないこと。3、相手が幼いので、活動的なしかも短い時間の単元が多いので、(教育計画が)なかなか困難なこと。」

「ふるい幼稚園の保育内容をそのままの形で、家庭生活や個性尊重の考えちがいなどから教育内容の更新研究が必要と思われる。保育から教育への移行といつてよいようなものである。」

(東京都、港区西校幼稚園、樋口澄雄)

「バーソナリティー形成に重点を置き、幼小一貫教育の叫ばれている時、小学校の準備教育にのみならない様に考慮すべきであると思ひます。」(広島県、因島市立土生第一幼稚園長)

生活指導の問題

「世の中の乱れは、家庭や近隣に生活する子供の生活に直接響いて来る。生活のし方とか、人柄からにじみ出る正しさ美しさは、幼稚園教育の生活指導にまつところが大きい。此の点を特に重視し度い。」(広島大学附属幼稚園、八坂富子)

「音楽、遊戯、図画、手技其他、個々の部分は割合よく研究されていますが、生活指導にこそもつと力を入れるべきで

しよう。人間の基礎教育とも云うべき幼稚園で案外軽くみられていたと思います。あらゆる研究及指導は必要ですが、特に私は次の二つを主張致します。○ 良き人格をつくる事。例えば感謝し、正直に、又親切にそして一生懸命に事にあたれる様な人格の基礎をつくっておく。○ 良き習慣をつくる事。健康、言葉其他日常生活についての基礎的なものの習慣をつくって行く。」

(神戸市、霞ヶ丘幼稚園長、土井芳子)

「平和的性格形成への努力。幼稚園で所謂「平和教育」を行えとは言わないが、万世に大平を開かんとの大使命を以て再起した日本の将来を荷負うこの幼児の性格形成の時期を委ねられている私達は真剣に「平和的性格形成」のために研究し、努力せねばなるまい。」(京都市、洛西幼稚園、田村貞一)

幼稚園で伝統的に重んじられている事柄、創造性、自主性は、いつの世にもとり上げられてくる問題であり、幼稚園教育の常に工夫せねばならぬ事柄である。

「幼稚園生活の中に創造性を養う為の生活経験を豊かにすべきこと。新しい保育形態に入りにくい環境にある多くの幼稚園が、余りにも創造性に乏しい生活に安んじている様に思われます。」

(愛媛県今治市、昭安幼稚園長、田坂ユキ)

「自主的な生活態度を培うこと。自分で自分の遊びを見出し、工夫し、創造して遊べるよう、あらゆる考慮をしたい。」

(大阪市立、貫江田幼稚園長、福島慎子)

「保育内容についての研究。文部省で示されている十二項目の保育内容がありますが、まだまだ研究の余地があります。」

保育形態の研究。一斉保育・自由遊び・グループ活動の三つを幼児の発達程度に応じて、どの割合におりませて毎日の保育をして行くかという問題。・実際の保育に当って、如何にして幼児を自から遊ばせ、いろいろな事を経験させるべく環境を作って行くかという問題。」

(姫路市、綱干幼稚園々長、三木藤枝)

健康と安全

「健康で安全な生活を望む。清潔の徹底、先ず手洗を習慣化させる。安全、いつも誰かが後からついて危いよと注意するのでなく、自ら幼い乍ら危険から身を守ろうとするように生活させて行き度い。」(大阪市立貫江田幼稚園長、福島慎子)

「健康上の留意が乏しくないか。身体上の発育は勿論の事營養上も配慮がない。設備上にもどこにも十分の配慮がない。」

個々の具体的な教育の内因について意見を求めるならば、百様の問題が取り上げられるまでであろうが、此の調査においてはこれ以上に立ち入った細かい点は、指摘して議論されていない。ただ

一例、科学教育に触れているものを次に掲げる。

「科学的陶冶に殆どかけている。フレイベル館からの意見を求められたからと云うわけではないが、同館から出版されているキングダーブックは慥かに科学的保育に徹している点が多い。私は大にこれを有効に利用し且啓発されている。昨年九州地区におけるワークショップ幼児班の討議問題の自然観察の一項目があつて、この方面の注意を慥かに惹起したと思うが、扱幼稚園内に入つて其の方面の環境の設備何程ありましようか。日本人に偉大なる科学者を出すことの少ないのは、幼児教育者も其の責の一半を負うべきではないか。敢て先覚者各位の御批評と同業者の反省を乞う。七五翁。

(長崎県島原市幼稚園、渡部義正)

教科内困とは少し違ふが、関連ある問題として、設備の工夫及び、親の教育家庭との連絡についての意見に、こゝでふれよう。建物の設計についての問題。

「保育室の広さについて、設備については、考慮が払われているが、色彩については殆ど無感覚に近い。照度と精神的安定を中心にした天井壁柱等の色彩について、もっと考へてほしい。狭い建物の場合尙更です。」

(東京都渋谷区城南教会、星野三雄)

親の教育、家庭との連絡

「母親教育は如何にしたらよいか。先ず入園と共に幼稚園の指導主旨及び秩序を守つてもらい、又教師を信頼して毎日通園させる事を話し、一ヶ月に一度は必ず幼稚園をのぞき先生や幼児達の生活をよく知つていただくなどし、くりとなつとくして入園させる。私は本年度より組別の母の会を開き出席を調べて園長と受持の教師と保護者と話し、其の月々の賦と保育の内容について幼稚園と家庭と協力して保育していきたいと思います。」(浜松市、青葉幼稚園長、松下わか)

幼稚園の教育内容については、従来から種々の書物があるが、現在特に急激に幼稚園が増加しつゝある事情に鑑みて、権威者の智を集め、且幼児教育に携わるものの要求を充すべく、幼稚園教育指導要領が文部省から公刊されることが望まれる。

「幼稚園教育指導要領の公刊について。幼稚園の教育内容については、教育法第七十八条の目標達成の五項目を中心とし、夫々カリキュラムを編成し操作されていると思うが、かつての次官通牒による教育課程について、昭和二十二年度文部省発行の保育要領試案を代用する旨が記され、而も今日まで幼稚園教育要領が刊行されないのは如何なる理由によるものであろうか。就学前の幼児教育(実際上の)指針を明示し名実共に権威あるものを速かに公刊されることを希望する。」

(埼玉県、浦和幼稚園長、長沼依山)

六、幼稚園と小学校との連関

幼稚園も小学校も同じ子供の教育を旨とするものであるから、その間に密接な連絡が望まれる。まして、幼稚園の上級と小学校低学年とは、心理学的に極めて似通つたものであれば、両者ともお互いにもつとよく理解し合つて始めて、此の期の教育の完璧が期せられるであらう。

「人格形成を旨指して懸命の努力をしている幼稚園教育も一方的となり又ひとりよがりでは、その教育目的を遂行するのにいびつになり、子供達の幸福も完璧を期することが不可能であります。幼稚園と家庭とが密接に連がりその育成に協力している如く、幼稚園と小学校とが互に連関をもつことにより、幼稚園教育の意義が一層深まるのであると信じます。」

(兵庫県明石市、播幼稚園長、内匠ちゑ)

概して云えば、幼稚園の先生が小学校に関心を持ち、理解しようとする努力の方が、小学校の先生の幼稚園に対する関心よりも強いのではないだろうか。小学校の先方に幼稚園に対する認識を深めて頂きたい、ということは多くの幼稚園の先生の考える所であらう。

「幼稚園にいかなくなつた子供の方が、一年生に進学してから非常にのびるようだ等と特殊の例をあげて幼稚園教育をうけた子供をゆがめてみられるようなことを再々きく。私はそ

のたびに、もしその子が正しい幼児教育をうけていたら、どんなによい成長をしただろうと思ひ、先生方にも申し上げている。幼稚園で幼児がどんな生活をしているかということも少くとも低学生の先生方には、もつと認識していただきたい。自分が小学校の教師をしてきただけに一層それを痛感し切望するものです。具体的方法としては、新年度一年を受持とうとする先生方に、せめて終末学期の幼児の生活位理解してもらふ方法をとることであると思ふ。」

(静岡市立安東幼稚園長、口中あい)

幼稚園と小学校の先生との談合の機会を増すこと、或いは指導要録のようなものでも小学校に利用してもらへるような制度を確立すること、等々の問題が考えられるが、此処では特に、小学校一、二年と幼稚園との教員の交流がとり上げられてゐる。

「幼稚園児と小学校一、二年児とは、発達のみにみて一つのまとまりとみた場合、教員の交流がのぞましい。現状では教員の質や、制度上の問題で実現に難点がある。」

(島根県松江市、雑賀幼稚園長)

「併設幼稚園のある学校は、持上り式に小学校低学年を担当することが望ましい。これは児童の教育のため是非必要だが、給与関係、資格其他で仲々実現されない。若し実現すれば、幼稚園と小学校の閉鎖が大きくなり、一層実績が上るものと思われる。」(東京都千代田区立小川幼稚園長、橋井 仁)

こゝに、特利に問題となる子供、特に智能の遅れた子供のための学級設置の問題を、附加しておく、全国の小学校に特殊教育が普及しつゝある今日、幼稚園としても考慮を払うべき事柄である。

「特別学級設置の件。智能の発達のおくれた幼児だけの園とまででは行かなくとも、せめて一クラスでもつくれたらとねがう。」
(三重県、松阪市立幼稚園長)

七、時代の風潮と幼児教育の問題

幼稚園が増加し、幼児教育が普及することは望ましく喜ぶべきことであるけれども、もしも幼稚園が企業本位になつて、その底にある教育を見失うとするなら、これは幼児のために大きな問題である。現在既にそりいう憂をもつてゐる意見もある。

「幼稚園が街の小企業家の手によつて安直に設置され、父兄に迎合することに専念、小学校との連絡を考えない経営が行われている。このことは国家の幼児教育の立場からも、ゆるがせにできない。」
(東京都港区西桜幼稚園長、樋口澄雄)

「入園希望者の多き事を理由として新設される園が増加される事は喜ぶべき事ではありませんが、その際、政治的手腕者、或は富ある者の慈善的行為(内容はさにあらず)等でなされる事があるのではないでしようか。幼児の魂を熱愛する人々

によつて作られるべきで、単なる事業であつてはならないでしよう。」
(神戸市、光の園幼稚園、中村敏夫)

「定員の減少の断行。ここ両三年、幼児数の激増と幼児教育への関心増大のため、各園押すな押すな盛況で、無理を承知で多数の幼児を收容し、それに伴つて「幼稚園の企業化」的傾向が見られ、その間に園の新設も相当あつたが、本年あたりを峠に幼児数も減少し始めてゐるから、この機会に幼稚園が自発的に園の定員、各組の定員の減少を断行し、一園百名一組数十名と云つた非教育的な経営を改善したいと思ふ」
(京都市洛西幼稚園、田村貞一)

幼稚園の設置規準を引上げることが、これらの事情に鑑みて、必要なことであらう。

「幼稚園の施設基準を確立して、法的根拠を設けて之に引き上げる。」
(兵庫県大屋村、大屋幼稚園長)

幼稚園の入園希望者が多いため、これを智能テストでふりわけることの弊害、小学校の入試智能テストに伴う弊害も、幼稚園の当面する問題として取り上げられる。

「現在の幼稚園教育に於て考慮すべき最も重要な問題は、都会に於ては入園希望者と園児收容数が合致しない為、幼児教育に最も大切な人を作る情操教育が十分徹底出来ない。私立に於て、入園さすべき必要ある幼児を断つて、テストに依

つてのみ収容することは考えるべきことと思う」。

(京都市常葉幼稚園、藤波 和)

「狭き門。何とか出来ないであろうか。家庭から社会への
第一歩のテストは、双葉には厳し過ぎはしないか」。

(広島県尾道市、スミレ幼稚園、三浦かづよ)

小学校の入試が幼稚園教育に響いてくる。

「近頃、一般が幼稚園に上げなければならぬという気持ち
になって幼稚園は盛になって来た様ですが、さて内容はどこ
までまちまちなのか。時々耳に致しますが、一年生の範囲に
まで入って字や数字を教えたり、折紙の宿題が出たりすると
ころがあり、その方が程度が高いといつて転園させたりする
家庭もあります。如何なものでしょうか考えさせられま
す」。

(埼玉県所沢市、所沢幼稚園、吉岡久子)

附記

此の調査は、最初、全国的に、現在の幼稚園の先生が何を重要な
問題と考えておられるかを知るために企画された。「現在、幼稚園
教育で考慮すべき最も重要な問題は何かと考えられますか」という
質問に対し、最も重要と思われるものを二つだけ回答して下さる様
にお願いした。全国三千余の幼稚園に、すべて回答をお願いするこ
とは不可能なので、その中から五百だけ抽出した。抽出に当たっては

偏りのないように、公私立別、県別、を考慮して、統計的に作無為
に抽出した。しかし、事務上、時間上、その他種々の手落ちのため
に得られた回答は僅かに四十枚余りであり、最初は統計的処理をも
志したに拘らず、統計的數字を掲げることは不可能となつた。従つ
て、此処に掲げた意見が、果してどの程度全般的な意見を代表する
ものかを知る術がないが、回答して下さつた先生方は、誠に熱心に
意見を述べて下さり、又、取り上げられた問題も、幼児教育全般に
亘つていたので、此の様な形で編集した。此処に、執筆頂いた先生
方に感謝致します。尚又、今後も同様の計画の際には、読者皆様の
御協力をお願い致します。此処に取り上げられた問題、「幼児教育
の当面する重要な問題」について、御意見をお持ちの方は、幼児の
教育編集部までお寄せ下さい。

尚、編集締切時期に遅れて回答して下さつた方の分は此処ではふ
れることが出来ませんでした。今後何かの形で御報告致します
故、御諒承下さい。

電話番号変更についてのお知らせ

この度弊社電話番号を左記の如く変更致しましたのでお知らせ
いたします。

切替日時 昭和二十九年四月二十一日午前〇時

電話番号 (八二二二・八二二三・八二二四)

東京二九局 (29) (八二二五・六三八八(企画・編集用))

株式会社フレール館